

広瀬川1万人プロジェクト実行委員会 設立20周年記念 総会及び講演会

令和5年1月27日(金)
仙台市市民活動サポートセンター

広瀬川流域一斉清掃を開始してから20年が経過したことを記念して、これまで活動に貢献していただいた個人と団体への感謝状の贈呈と記念講演を行いました。



個人表彰

野口 登美一様	三洋テクニックス株式会社	株式会社深松組(渡橋)	仙台市カヌー協会(折立)	株式会社八本松緑地愛護協力会(八本松)	特定非営利活動法人水・環境ネット東北(八本松ほか)	株式会社建設技術研究所東北支社(牛越橋)	株式会社宮城衛生環境公社(野川橋)
浅野 公隆様	廣瀬川市民会議	株式会社NJS仙台事務所	情報労連宮城県協議会(闘上海岸ほか)	株式会社サトー技建(宮沢橋)	株式会社三洋設計(宮沢橋ほか)	仙台環境開発株式会社(作並)	仙台環境開発株式会社(作並)
桜木 勇人様	廣瀬川市民会議	加藤 桂子様	株式会社深松組(渡橋)	株式会社八本松緑地愛護協力会(八本松)	特定非営利活動法人名取ハマボウフウの会(闘上海岸ほか)	株式会社建設技術研究所東北支社(牛越橋)	株式会社宮城衛生環境公社(野川橋)
杉山 ふじ子様	廣瀬川市民会議	野口 登美一様	三洋テクニックス株式会社	株式会社八本松緑地愛護協力会(八本松)	特定非営利活動法人水・環境ネット東北(八本松ほか)	株式会社建設技術研究所東北支社(牛越橋)	株式会社宮城衛生環境公社(野川橋)

これまで多くの方々のおかげで活動を継続することができます。一方で参加者が増えたことで、過密状態の会場が増えているなどの課題もあります。各清掃会場は、実行委員会の志の協力によって運営していますが、諸々の負担があるために担い手が少ないのが現状です。そのようななか今年度の秋の一斉清掃で、過去最多となる19会場で実施することができます。そこで、この傾向はまだ続くと予想されています。

引き続き協力を賜りますようお願い申し上げます。

講演会 広瀬川の環境と サケの遡上

宮城教育大学准教授 棟方有宗氏



仙台にきて18年になりますが、広瀬川の源流から海まで通してすべて歩きました。歩けない部分はカヌーやSUPで漕ぎ下りました。広瀬川の水源の標高は1,264mとあまり高くなく、流域面積は4,111km²、流域の全域が仙台で完結しています。お気に入りのポイントは奥新川で、市の中心部から50分程度でアクセスできます。生まれは多摩なので杉林を見慣れていましたが、奥新川は広葉樹の明るい森なのが印象的でした。

◆魚類の現状(シロサケを象徴として)

最上流にはイワナがいます。数十万年前の氷河期に日本にやってきてその後取り残されました。歩けない部分はカヌーやSUPで漕ぎ下りました。広瀬川の水源の標高は1,264mとあまり高くなく、流域面積は4,111km²、流域の全域が仙台で完結しています。お気に入りのポイントは奥新川で、市の中心部から50分程度でアクセスできます。生まれは多摩なので杉林を見慣れていましたが、奥新川は広葉樹の明るい森なのが印象的でした。

◆魚類の現状(シロサケを象徴として)

最上流にはイワナがいます。数十万年前の氷河期に日本にやってきてその後取り残されました。歩けない部分はカヌーやSUPで漕ぎ下りました。広瀬川の水源の標高は1,264mとあまり高くなく、流域面積は4,111km²、流域の全域が仙台で完結しています。お気に入りのポイントは奥新川で、市の中心部から50分程度でアクセスできます。生まれは多摩なので杉林を見慣れていましたが、奥新川は広葉樹の明るい森なのが印象的でした。

次いで太平洋サケ属のヤマメです。進化的にはイワナの方が古く、ヤマメの方が新しいですが、この呼び名を使う人には会ったことがあります。アラハヤは見た目はあまり美しくありませんが、広瀬川で最も数が多い魚だと思います。食用にはあまり向かないため、地域によっては「にがつべ」というあだ名があると聞きますが、この呼び名を使う人には会ったことがありません。

次いで太平洋サケ属のヤマメです。進化的にはイワナの方が古く、ヤマメの方が新しいですが、奥新川で、市の中心部から50分程度でアクセスできます。生まれは多摩なので杉林を見慣れていましたが、奥新川は広葉樹の明るい森なのが印象的でした。

◆魚類の現状(シロサケを象徴として)

最上流にはイワナがいます。数十万年前の氷河期に日本にやってきてその後取り残されました。歩けない部分はカヌーやSUPで漕ぎ下りました。広瀬川の水源の標高は1,264mとあまり高くなく、流域面積は4,111km²、流域の全域が仙台で完結しています。お気に入りのポイントは奥新川で、市の中心部から50分程度でアクセスできます。生まれは多摩なので杉林を見慣れていましたが、奥新川は広葉樹の明るい森なのが印象的でした。



図1 断水塊のイメージ

暖水塊が無い日本海ではサケの資源量は維持されているからです。北太平洋全体のサケ・マス類の資源を見ると、増加もしくは維持の状態で、シロサケに関しては増えています。サケの資源が北に行くほど多いのは、サケが冷水性であるゆえんです。宮城は生育の南限あたり、舌に例えるところからは先端になるので、伸びた舌が戻っても面積(生態域)は変わりません。実際に宮城県では2022年度は前年度の12.5%となり、回復傾向にあります。現在起こっているサケの減少は主に海洋環境による時的なものですが、この傾向はまだ続いていると予想されています。

国外外来種のコフクチバスも近年侵入してきました。同じく国外外来種であるオオクチバスよりも早い流れに適応するので厄介です。流れの緩やかで、サケをはじめとした魚類の視点から見るとウグイが増えるようです。

2010年以降オイカワが増えてウグイが減少しています。要因はいくつかありますが、淵が減つて淵が増えるとオイカワが優勢になり、逆になるとウグイが増えるようになります。

2010年以降オイカワが増えてウグイが減少しています。要因はいくつかありますが、淵が減つて淵が増えるとオイカワが優勢になり、逆になるとウグイが増えるようになります。

ただし広瀬川でもサケの受け皿(環境)の改善が必要です。

サケをはじめとした魚類の視点から目指すべき川の条件が三つあります。一つ目は、安定した水位(河川内環境の安定)。二つ目は、河床の多孔性(産卵床・餌生物の住処・隠れ家)で、これと対極にある水路などの字構は生物がすむのに適さない環境です。三つめは、動線で、魚道などによる稚魚や親魚の回遊と砂礫が常に上流から供給される状態です。

水量については、降雨の量は「ントロールができる

が必要です。

サケをはじめとした魚類の視点から目指すべき川の条件が三つあります。一つ目は、安定した水位(河川内環境の安定)。二つ目は、河床の多孔性(産卵床・餌生物の住処・隠れ家)で、これと対極にある水路などの字構は生物がすむのに適さない環境です。三つめは、動線で、魚道などによる稚魚や親魚の回遊と砂礫が常に上流から供給される状態です。

水量については、降雨の量は「ントロールができる

必要があります。

【団体表彰】

流域一斉清掃において概ね10年以上会場担当として運営に尽力をいただいた団体や企業(カツコ内は担当会場)

作並地区未来プロジェクト(作並)

仙台環境開発株式会社(作並)

株式会社宮城衛生環境公社(野川橋)

株式会社三洋設計(宮沢橋ほか)

株式会社カヌー協会(折立)

株式会社八本松緑地愛護協力会(八本松)

特定非営利活動法人水・環境ネット東北(八本松ほか)

株式会社建設技術研究所東北支社(牛越橋)

情報労連宮城県協議会(闘上海岸ほか)

株式会社サトー技建(宮沢橋)

株式会社深松組(渡橋)

株式会社八本松緑地愛護協力会(八本松)

特定非営利活動法人名取ハマボウフウの会(闘上海岸ほか)

株式会社建設技術研究所東北支社(牛越橋)

株式会社宮城衛生環境公社(野川橋)

株式会社三洋設計(宮沢橋ほか)